

特集 2 チャレンジ大阪 III

# 「大阪市立工業研究所との産官技術交流会」

～中小企業におけるハイエンドなものづくりに向けた技術支援～

主催／大阪商工会議所、(地独)大阪市立工業研究所、一般社団法人 生産技術振興協会

後援／近畿経済産業局、大阪市、商工中金、大阪市信用金庫、大阪商工信用金庫、

一般社団法人 大阪大学工業会、NPO法人 エコデザインネットワーク

協力／(社)大阪工研協会、りそな銀行

〈開会挨拶〉

大阪商工会議所 中堅中小企業委員会 委員長  
更家 悠介 氏



私は大阪商工会議所中堅中小企業委員会の委員長をしています更家です。とにかく中小企業にとって、円高問題、エネルギー環境が変わる中で大変には違いないのですが、これを乗り切っていくといけません。中国問題では、中国への投資撤退なども取り沙汰されています。安かった人件費が上昇してしまった今、中国マーケットについては人件費問題だけでなく、付加価値を高める対応が重要であり、今こそイノベーションが大事だと思います。一方で金融機関というと、日銀から国債ばかりを買っています。経済産業省による大阪市への金融誘導をぜひ期待したいものです。また、大阪府立産業総合研究所と大阪市立工業研究所の統合に際しては、技術移転が円滑になることを期待するとともに、我々受ける側もそのつもりでマッチングに前向きに対応できればと考えております。府、市の行政改革がスムーズに行くことを期待しています。本日の交流会では、技術吸収と市工研との交流を通してイノベーションにつなげていただきたいと思います。

〈開会挨拶〉

(地独)大阪市立工業研究所 理事長  
中許 昌美 氏



大阪市立工業研究所理事長の中許です。大阪商工会議所様、生産技術振興協会様から声を掛けていただき、開始した産官技術交流会「チャレンジ大阪」のセミナーも今回で3回目を迎えました。大阪市立工業研究所は大正5年に設立され、今年で96年目を迎えております。研究開発の成果を大阪の中小企業に技術移転し、企業を育てることによって、地域の工業振興・産業発展に貢献してきました。平成20年には独立行政法人化し、研究委託から製品化まで、企業と一緒にものづくりで地域社会に貢献したいと考えております。中小企業が直面する日々のクレーム処理や品質管理等に対してお手伝いすることはもちろんのこと、現在は電子化時代であるからこそ、むしろヒューマンネットワークがさらに重要だと考えます。本日の交流会では、研究員と企業の方々、企業間のヒューマンネットワークを深めていただき、ものづくりの可能性を探りたいと考えております。今回の企画は機械金属系・プラスチック系のプロセス技術を紹介することになっておりますので、最後までよろしくお願いいたします。